

青島でのツマベニチョウの越冬記録

小松 孝寛

宮崎県内でのツマベニチョウの確実な北限生息地は日南市鶴戸と言われているが、最近は内海や青島など宮崎市内でも成虫を目撃することが多くなり、2009年春には越冬したと思われる個体も確認している。青島にある亜熱帯植物園にはギョボクが植えられており、2010年の秋には成虫を何度か目撃し、亜熱帯植物園では幼虫や卵も確認している。



青島亜熱帯植物園のギョボクの大木
めの木で、葉も多い。

青島亜熱帯植物園で2010年10月30日に成虫2♀を確認した。その後、成虫は確認できなかったがギョボクには多数の卵と幼虫がいたので、ツマベニチョウが青島で越冬できるかどうか観察を行うことにした。

観察対象：ツマベニチョウ

Hebomoia glaucippe

観察場所：宮崎市青島2丁目

青島亜熱帯植物園

観察期間：2010年12月11日

～2011年5月8日

観察者：小松孝寛

園内の奥には大きなギョボク3本の他に、観察に適した背の低いギョボクが4本あったので、それらに付いている卵と幼虫を観察対象とした。

ギョボク①1.5mくらいの背丈よりも
少し低い小さな木

ギョボク②背丈より少し高い小さな木、
①よりも葉が多い。

ギョボク③腰くらいの高さの一番小さ
い木で葉も少ない。

ギョボク④高さ4mほどの比較的大き



ギヨボク① (2011/02/19)



ギヨボク② (2011/02/19)



ギヨボク③ (2010/10/17)



ギヨボク④ (2010/10/17)



ギヨボク④にいた終齡幼虫 (2010/10/30)



ギヨボク③にいた若齡幼虫 (2010/12/11)

<観察記録>

2010年12月11日

ギヨボク①

若齡5頭

ギヨボク②

若齡22頭

ギヨボク③

若齡5頭

ギヨボク④

卵17以上

近くのオオタニワタリにキマエコノハがいた。

2010年12月12日

ギヨボク①

若齡5頭

ギヨボク②

若齡22頭

ギヨボク③

若齡5頭

ギヨボク④

卵のまま

2010年12月28日

ギヨボク①

若齡4頭

ギヨボク②

若齡22頭

ギヨボク③

若齡4頭

ギヨボク④

若齡14頭

4番目の木では幼虫が孵化していた。卵もある。近くにモンシロチョウが飛んでいた。

2011年01月04日 若齢4頭 若齢20頭 若齢4頭 若齢11頭
 2011年01月14日 若齢4頭 若齢20頭・蛹1頭 若齢4頭 若齢10頭
 ギョボク②に蛹もいることを確認。葉裏から離れていたので分かった。緑色で生きている。
 2011年01月19日 若齢4頭 若齢20頭・蛹1頭 若齢4頭 若齢7頭
 2011年01月30日 若齢4頭 若齢15頭・蛹1頭 若齢3頭 若齢2頭
 2011年02月06日 若齢2頭 若齢11頭・蛹1頭 若齢2頭 若齢2頭
 ギョボク①と②の若齢幼虫は1/30より少なくなった。ギョボク③の大きめの幼虫は葉ごと落ちたようだ。コウシュンナガカメムシがギョボク①にいた。
 2011年02月19日 若齢0頭 若齢0頭・蛹1頭 若齢0頭 若齢0頭
 幼虫がすべていなくなっていた。寒さで死んだようだ。蛹だけは生きていた。
 2011年02月21日 ツマベニチョウの幼虫の死骸を確認した。蛹は生きている。
 2011年03月05日 ギョボク②の蛹はまだ生きている。
 2011年03月19日 蛹(②についていたもの)はなくなっており、下に蛹残骸があつたが、
 ②のギョボクに4齢幼虫が1頭いた。小さなギョボクなので4齢を今まで見逃していた
 とは思えない。枝など葉以外の場所にいて葉の上に出てきたのかもしれない。
 2011年03月26日 4齢幼虫はまだ②のギョボクにいた。
 2011年04月09日 4齢幼虫はまだ②のギョボクにいた。
 2011年04月18日 ②の4齢幼虫は脱皮して終齢幼虫になっていた。
 2011年04月23日 ②の4齢幼虫はいなくなっていた。ツマベニチョウの成虫♂を目撃。
 調査していたギョボク以外の大きなギョボクから4齢幼虫1頭を確認した。
 2011年04月24日 4齢幼虫がいた大きなギョボクから蛹の抜け殻を見つけた。ここで羽化
 したのは間違いないと思われる。
 2011年04月25日 4齢幼虫はまだいる。ツマベニチョウ成虫♂を撮影。右の羽がかなり痛
 んでいるので、鳥か何かに襲われたようだ。
 2011年04月30日 幼虫は終齢になっていた。ジャコウアゲハ♂がトベラで吸蜜。
 2011年05月08日 終齢幼虫はいなくなっていた。近くを探したが蛹は見当たらなかった。



ギョボク②の蛹 (2011/2/19)



春に羽化した成虫♂ (2011/4/25)

2010年12月～2011年2月は例年より寒く、秋に確認できた青島亜熱帯植物園のツマベニチョウの幼虫は殆どが死亡した。しかし、2011年4月に蛹殻と成虫が確認できたので冬を越した個体もいることは確実である。2011年の夏は日南海岸のツマベニチョウが少なかったが、秋になって何頭かを目撃している。これだけのデータでツマベニチョウが青島で土着しているかどうかは分からぬが、ツマベニチョウが宮崎市内でよく見かけられるようになったのは確かである。

＜宮崎県内のツマベニチョウのデータ＞（すべて筆者が確認。注記のないものは目撃）

1985年09月08日	延岡市大貫町	成虫1頭
1996年08月18日	南那珂郡南郷町大島	3齢幼虫1頭
1998年05月04日	南那珂郡南郷町大島	成虫1♀
1998年07月20日	日南市鶴戸神宮	成虫1♂1♀（♀撮影）
1998年10月10日	日南市鶴戸神宮	成虫5♂1♀、卵4（1♂、卵1撮影）
1999年05月08日	南那珂郡南郷町夫婦浦	成虫1頭
1999年08月22日	日南市鶴戸神宮	成虫1頭
2000年06月16日	日南市鶴戸神宮	成虫2頭
2001年06月16日	日南市富土潮小学校	若齢幼虫4頭（3齢幼虫1頭撮影）
2002年05月25日	日南市鶴戸神宮	成虫1頭、卵7（卵1撮影）
2002年09月16日	宮崎市白浜仏舎利	成虫1♂
2002年09月16日	日南市鶴戸神宮	成虫2頭
2002年09月23日	日南市サンメッセ日南	卵5
2002年09月29日	日南市猪崎鼻	成虫1♂（ランタナで吸蜜、撮影）
2003年05月02日	日南市サンメッセ日南	成虫1頭
2003年05月02日	日南市富土潮小学校	成虫1頭、蛹1頭、卵多数
2003年08月12日	日南市サンメッセ日南	成虫1♀（産卵も確認）、前蛹1、卵12以上
2003年08月24日	南那珂郡南郷町大島	成虫1頭
2005年05月21日	日南市サンメッセ日南	成虫1♀（産卵、撮影）
2005年09月10日	日南市サンメッセ日南	成虫1♂
2005年09月18日	日南市サンメッセ日南	成虫1♂
2006年10月14日	日南市鶴戸神宮	卵2
2006年10月28日	日南市鶴戸神宮	終齢幼虫2頭（撮影）
2007年09月23日	日南市鶴戸神宮	成虫1頭
2007年11月03日	南那珂郡南郷町贊波	成虫4頭、卵20以上（1♂、卵1撮影）
2008年07月12日	南那珂郡南郷町贊波	成虫4頭、卵2（2♂1♀撮影）
2008年07月12日	日南市鶴戸	成虫2頭
2008年07月12日	宮崎市内海	終齢幼虫3頭確認

2008年08月31日	宮崎市内海	成虫2♀2♂、卵6以上（産卵も確認）
2008年09月22日	日南市立石	成虫1頭
2008年09月22日	日南市鵜戸神宮	成虫1頭
2008年10月18日	宮崎市折生迫堀切峠	成虫1頭
2008年11月15日	宮崎市青島亜熱帯植物園	成虫1♀（ブーゲンビリアで吸蜜、撮影）
2008年11月17日	宮崎市青島こどもの国	成虫1♂
2009年04月16日	宮崎市青島海水浴場	成虫1頭
2009年07月11日	宮崎市内海小内海	成虫1頭
2009年07月11日	南那珂郡南郷町贊波	成虫1頭
2009年10月03日	南那珂郡南郷町贊波	成虫1頭
2010年07月24日	宮崎市青島亜熱帯植物園	成虫1♂
2010年10月03日	宮崎市内海小内海	成虫3頭（1♂撮影）
2010年10月03日	串間市石波	成虫4頭（ハイビスカスで吸蜜、1♀撮影）
2010年10月17日	宮崎市青島亜熱帯植物園	成虫2頭、終齢幼虫3頭、卵3（撮影）
2010年10月30日	宮崎市青島亜熱帯植物園	成虫2♀、終齢幼虫1頭（撮影）
（この間は本文を参照のこと）		
2011年09月23日	宮崎市内海小内海	成虫1頭
2011年10月07日	日南市鵜戸神宮	成虫1♂（撮影）
2011年10月08日	宮崎市青島亜熱帯植物園	4齢幼虫1頭（撮影）
2011年10月23日	日南市南郷町大島	成虫3頭

（こまつ たかひろ：宮崎市）